

第三次えひめ環境基本計画 概要図

第1章 基本的事項

策定の趣旨

第二次計画を踏まえつつ、新たな課題や潮流にも適切に対応し、環境の保全に関する施策を総合的かつ計画的に推進するために策定

計画期間

令和2年度から令和6年度までの5年間

第2章 環境の現状と課題

○近年の環境を巡る動き

国際的な潮流や我が国が抱える環境の現状と課題を整理

○第二次計画の取組結果と課題

環境指標の実施状況を検証し、本計画の方向性を提示

○県民の環境意識

県民等の環境保全に対する意識を調査し、県民の関心度や取組の現状を分析

○愛媛の環境を取り巻く課題

県内の環境の現況や今後の課題を分野ごとに整理

第3章 計画の方向性

目指すべき将来像

環境と経済の好循環による「愛顔あふれる持続可能なえひめ」

第4章 施策の展開

基本目標

基本方針

個別施策

I かけがえのない環境の保全

① 安全で良好な生活環境の保全

- 1 良好な大気、水、土壌環境の保全
- 2 瀬戸内海の環境保全対策と生活排水対策の推進
- 3 騒音、振動、悪臭の防止
- 4 安全で良質な水の確保
- 5 海洋ごみ対策
- 6 快適な暮らし空間の実現

II 目指すべき3つの社会の実現

① 気候変動対策の推進と低炭素・脱炭素社会の実現

- 1 地球温暖化対策の総合推進
- 2 低炭素型ライフスタイルへの転換
- 3 低炭素型のビジネススタイルの実現
- 4 再生可能エネルギーへの転換促進
- 5 水素エネルギーの導入推進
- 6 低炭素社会の実現に向けた環境負荷の少ない地域づくり
- 7 気候変動への適応の推進
- 8 オゾン層保護対策

② 環境への負荷が少ない循環型社会の実現

- 1 3Rの推進
- 2 廃棄物の適正処理の推進
- 3 プラスチック資源循環の推進
- 4 災害廃棄物処理体制の構築

③ 生物多様性の保全と自然共生社会の実現

- 1 豊かな自然環境の保全と適正な利用の促進
- 2 生物多様性の保全と普及啓発
- 3 気候変動を踏まえた生物多様性の保全対策
- 4 外来生物対策
- 5 野生鳥獣の適正管理
- 6 魅力ある里地・里山・里海づくり

III 未来を支える人づくり・しくみづくり

① 環境教育・学習の充実と環境保全活動の促進

- 1 多様な場におけるESDの視点を取り入れた環境教育・学習の充実
- 2 環境教育・学習を推進する人材の育成
- 3 環境保全活動と多様な主体による環境協働取組の促進
- 4 食品ロスの削減とおもいやり消費の推進
- 5 環境情報の充実

② 地域循環共生圏の形成

- 1 環境影響評価の推進
- 2 グリーン購入や環境に配慮した行動の促進
- 3 環境対策ビジネスの振興
- 4 分散型エネルギーシステムの推進
- 5 環境と調和した産業経済活動の推進
- 6 恵み豊かな森林(もり)づくり

第5章 計画の推進

PDCAサイクルにて管理

県民

事業者

環境活動団体

行政

愛媛県環境審議会